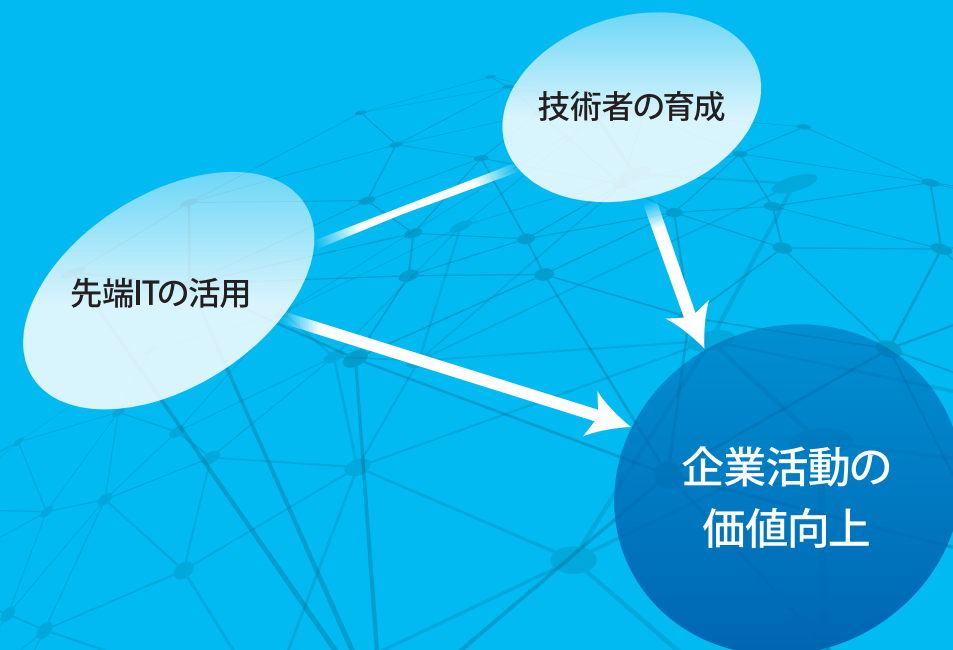


先端ITを学び、評価し、 実践へ活かす。

IT分野では、次々と目まぐるしく新しい技術が生まれ、そのいくつかは瞬く間に進化を遂げていきます。

一方で、企業情報システムにおいては、先進性だけでなく、安定性や機密性などが求められ、そのための研究・検証などを行うために、先端ITの適用に時間がかかるという課題があります。

この課題を解決するために発足したのが、「先端IT活用推進コンソーシアム(AITC)」です。先端IT分野について、複数の企業が共同で研究・検証・実証などを行うことにより、企業における先端ITの適用サイクルを早め、同時に先端ITに知見の深い技術者を育成し、もって先端IT活用による企業活動の価値向上に資することを目的として活動します。また、本コンソーシアムの活動によって、安定性や機密性を求める社会基盤にも先端ITの活用が進むよう、活動の発展を目指してまいります。



次のIT、ともに目指しませんか？

本コンソーシアムの趣旨に賛同し、部会活動などに参加、ご協力いただける会員を募集しています。

参加者のメリット

業種や企業の枠を超えた人的ネットワークを構築できます。また各界エキスパートの講演に触れ、自身も発表の機会を持つことで、知識に加えプレゼンテーション能力の向上が期待できます。

参加企業のメリット

先端ITに明るい技術者を先行して育成できます。さらに自社戦略や製品の普及マーケティングの場、普及啓発の場として利用することが可能です。

さらに、特典

- ・本会が主催するセミナー、勉強会、部会、発表会に、人数の制限なく無料で参加。
- ・会員限定の報告書や事例集なども閲覧可能に。

参加者の声

最大の特長は、積極的に活動しているIT技術者と長期間にわたり交流でき、知識、技術を伝播しあい相互にレベルアップできることです。メンバーの幅が広く、実務経験豊かな方、最新技術に強い方、さらに行政関係の方などが参加しており、さまざまな視点が得られます。ビジネス制約の少ない環境で納得がいくまで探求していくという経験は技術者として大切なものだと感じます。
(会員会社 技術職 Aさん)

教養セミナー的な活動に終わらず、目的が明確にあり最新技術を駆使できる、という運営コンセプトが素晴らしいです。各方面の有識者や各社の技術者、経験豊富なITマネジメント能力を有した方々が企業間を超えて協働し、大いに力を発揮できるのは他にはあまり例がないと思います。仲間たちとのディスカッションを通じて得られる知識や技術は、かなりハイレベルなものであり、会社内の議論だけでは絶対に到達できないものでしょう。
(会員会社 経営者 Bさん)

会費

法人および個人事業主	10万円
個人会員	1万円
学会会員	3千円

問い合わせ

staff@aitc.jp (AITC事務局)

入会申し込み

<http://aitc.jp/consortium/join.html>

先端IT活用推進コンソーシアム

Copyright©先端IT活用推進コンソーシアム 2019 All rights reserved.

知を結集し、ITの次のカタチを見い出す。



活動の対象領域

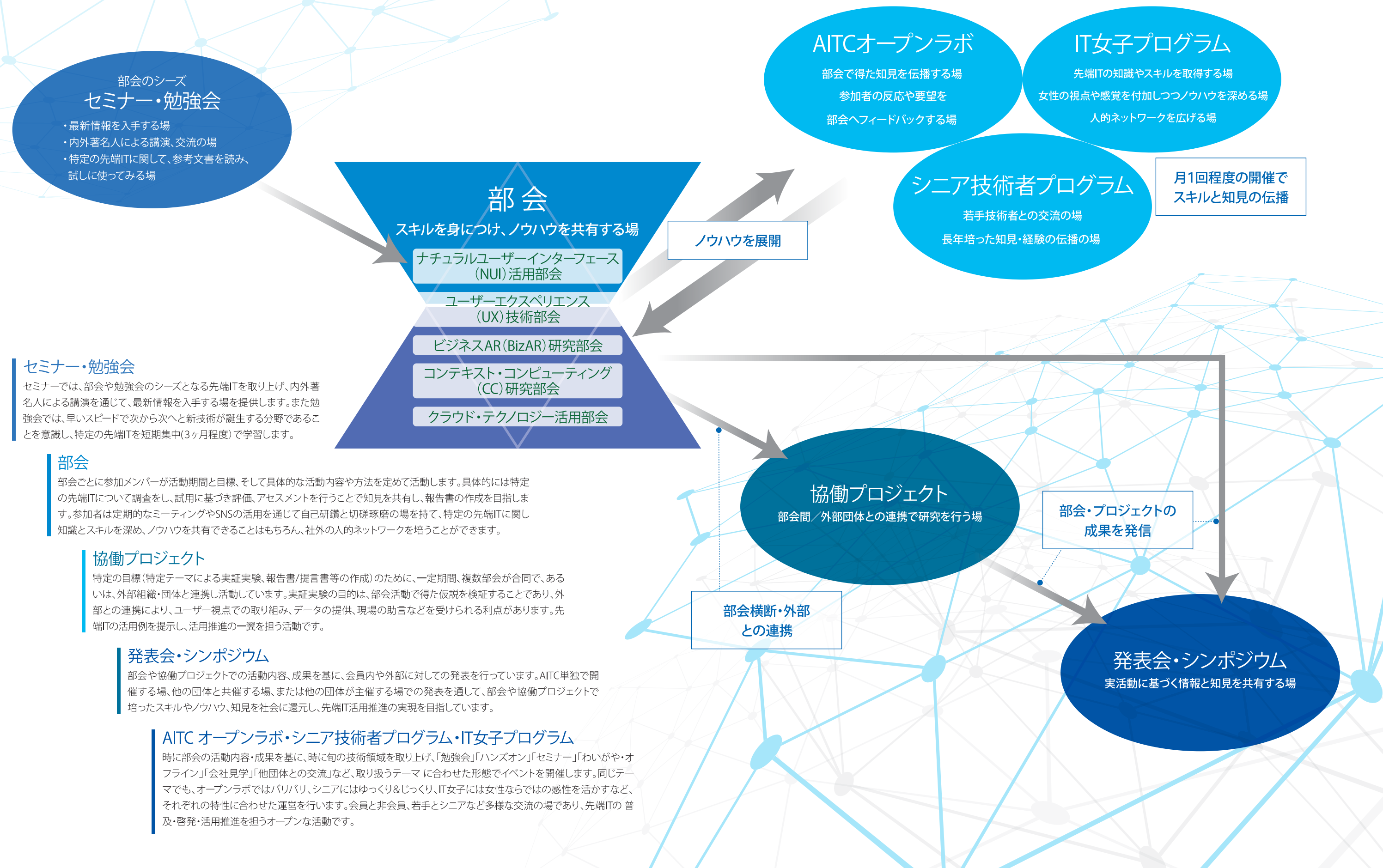
～ 新しい技術にワクワク挑戦！～

AITCでは5つの部会名であるクラウド、コンテキスト、AR、UX、NUIに加え、今期も量子コンピューティング、IoT、セキュリティ、AI、ビッグデータ、ブロックチェーンなど注目度の高い技術に積極的に取り組みます。実用化に向かって、何が使えるか、何が残るのか、どう使うのが良いのか、新しい技術領域を学び、調査・研究・検討し、技術と知見を広く発信する活動に取り組みます。

AITCは新しい技術にドキドキ、ワクワク、失敗を恐れず挑戦できる場！
今期も新しく登場するテクノロジーに注目し、いち早く挑戦していきます。

2019.10

5つの部会を中心に、ITの最先端を追究する。



5部会概要

それぞれが明確な目的を持ち、精力的に活動を行っています。

クラウド・テクノロジー活用部会

■活動目的

幅広い情報収集を行い、調査結果を情報共有するとともに、実際にプロトシステムを開発することで、IoTと機械学習を軸にクラウドの各要素技術を活用するヒントや具体的なイメージを得るための活動を行います。

■活動内容

- 広範囲の各要素技術に対し、単に「知っている」だけでなく、部会参加者全員が「使ったことがある」「人に教えることができる」と言えるレベルを目指していきます。
- 測定（センシング）
- 収集（ネットワーク）
- 蓄積（KVS、クラウドサービスの利用）
- 分析（統計処理、オープンデータの利用）
- 出力（ビジュアライゼーション、プッシュ通知）

コンテキスト・コンピューティング (CC) 研究部会

■活動目的

コンテキスト・コンピューティングのビジョンとして、個人や集団が階層的に連動することで、社会全体がインテリジェンス (Social Intelligence) として機能するような情報社会像を提示し、具体的な情報基盤技術を提言します。

■活動内容

- コンテキスト・コンピューティングにより実現するビジョン「人と機械（コンピュータ）の協働による“情報の個人化”“社会知の形成”」の検討
- 2020年のITシステムにおけるSocial Intelligenceの姿と実現方法の構想
- 基盤となるプラットフォームの作成、社会・ビジネスにおける応用例の提案

ビジネスAR (BizAR) 研究部会

■活動目的

最先端のAR技術の把握と習得、及び今後の社会やビジネスの変化を踏まえた ARの活用（ビジネスAR）について研究することを活動目的とします。さらに活動成果を発信していきます。

■活動内容

- AR産業に関する議論と取りまとめ
- ロボティクスインターフェースによる聴覚ARを用いた遠隔会議の実施と検証
- 空間OS及び自宅でのトレーニングの拡張とそのため

ユーザーエクスペリエンス (UX) 技術部会

■活動目的

UXデザイン/サービスデザインプロセスの実践を通して、利用者に、より良い体験を提供するITシステムとは何かを探究します。UXデザイン/サービスデザインプロセスの実践・評価によって得られた知見を広く提供していくことで、ITのUX向上に貢献していきます。

■活動内容

- AITC発のUXデザインプロセスである「マンガ駆動開発」の完成度を高め、文書として成果を公開します。そのために、UXデザイン/サービスデザインプロセスで活用できるツールや手法の研究と実践を行います。
- 協働プロジェクト「空気を読む家」を対象にしたマンガ駆動開発の実践
- 近未来 UX の検討

ナチュラルユーザーインターフェース (NUI) 活用部会

■活動目的

最新技術やデバイスの紹介などを行うとともに、NUIの特性をより引き出しより身近に使えるものとなるようなプロトタイプ開発を目指し、調査・研究を行います。その活動を通じ、直感的で誰もが使いやすいインターフェースとは何かを探究し、ビジネスやサービスにおける様々なアプリケーションの利便性の向上に貢献していきます。

■活動内容

- 協働プロジェクト「空気を読む家」のなかで、日常的な人間の振る舞いが自然なインターフェースとしてシステムと繋がるようなフレームワークを検討、開発します。
- NUIデバイスの技術仕様や導入事例の調査
- NUIフレームワークの開発
- デバイス、ガジェット紹介イベントの開催

協働プロジェクト「空気を読む家」

■活動テーマ

社会課題解決へのチャレンジと各部会の活動成果の活用をビジョンとして、「空気を読む家」をテーマに活動中です。近未来に実現するであろう『空気を読む家』の中で、人がどのように快適な生活をおくることができるのかというユーザー体験をデザインし、『空気を読む家』における、人とモノ・環境・社会とのスマートな関わりをAITCの各部会が取り組んでいるコンテキストコンピューティング、AR技術、ナチュラルユーザーインターフェース技術、クラウド技術を駆使して、実証実験システムの構築を行います。